

兒童救急手當法 (三)

醫學士 藤井秀旭

出血

出血の場所によつて鼻出血、咽頭出血、肺出血等を區別しますが、茲には唯鼻出血即ち鼻血のお話を致します。

子供には、いろいろな原因で鼻血の出ることが屢々あつて、其の手當に困ることがあります。

鼻血には(一)局所的と(二)全身的との二つの場合があります(一)は鼻に故障が起きた爲めに血が出る場合、例へば指で鼻をかくとか、鼻を打ちつけたとかいふ場合で、(二)は血友病、萎黃病、百日咳、麻疹、猩紅熱、腸窒扶助、氣壓の變化等に原因する者であります。婦人にあつては月經代償として鼻血が出る場合もあります。鼻血の多くは鼻

の中隔から出る血であります、中隔は俗に鼻の障子と云つて居る所であります。その他、嚏をした時であるとか、精神感動が原因になつて出る時もあると、精神感動による場合の如きは、一度止つてもまた感動すれば、また出て來るもので、これは頭の方へ血がよつてくる爲めであります。鼻血は量多く出ると、眼まいがして、眼火開發といふように、眼の前に火がちらつて見えだんぐと苦しくなつて來ます。

其手當

恚ういふ場合には、先づ子供を安靜にし、頭を高くして寝させ、兩手を高く上げさせて置く。大體の場合には、これで治るものであります、尙止

らない場合には、冷水に酢、或は明礬を加へたもの、(凡そ水五合に明礬一茶匙)を嗅らせ、綿を小さく丸めたもの、即ち醫者で云ふ綿球を鼻腔へ填める。若し氷があつたならば鼻を冷すのは最もよい方法なのであります。綿球を作るには、清潔なる綿を小さくまるめて「アドリナリン」をつけて鼻腔に填めるのであります。

若し鼻血が鼻と咽喉との境目から出るといふような場合には、逆も素人には手當が出来ませんから、醫治を受けることが必要であります。

月経代償の場合で前に婦人科の病氣が原因して居ない時には、其の儘にして置いて差支がありません。たい足を温める位が其の手當であります。

嘔吐

この原因には、いろいろありますけれども、通常は食べ過ぎ腦及び胃腸に故障のある場合に催すもので、子供は百日咳の時にもよく起る。

この場合には成るべく食物や湯茶を與へないようにして口渴には氷又は番茶を冷くしたものを與へ、又は「セルテル」水を吞ますのであります

發熱

子供の體に熱の出た時には、頭や胸に冷い濕布をする。そして十分か十五分位で濕布を取り換へる。尙熱がさめない時には、四十度乃至五十度位のお湯に入れて、水を項からかけてやるのであります。これは肺炎の手當として、よくやる方法であります。素人は熱のあるのに、お湯へ入れたり、水をかけたりして、反つて悪くなりはせないかと云ふ懸念を持ちますけれども、決してそうではありません。但し「チラス」の時は行はぬ方がよいと云つて居ります。若し心臓が悪くなつて來たような時には、玉露コーヒ等を與へるのがよいのであります。

異物

異物とは、人間の身體以外のもの、例へば石礫であるとか木片れであるとか其の他の物質を總稱した言葉であります。かういふ障害物が吾々の體内へ入つた場合には、その爲めにいろいろな害が起つて來ます。其の時の手當に就いて一通り申上げて置き度いと思ひます。これには子供が自分で入れた場合と、自然に入つた場合とがありますけれども大體次のように區別して説明する方が便宜かと思ひます。

第一は鼻腔内へ異物の入つた場合であります。

子供が豆や小石を持つて遊んで居ます時に、よく鼻の腔へ入れるもので、大體は右の鼻へ入れますそれは右の手に持つからであります。この時には紙捻を作つて、子供の鼻腔へさし込む。そうすると、嚏みをして其のはづみに異物が飛び出て來ます。

第二は氣道内へ入つた場合で、これには人さし

指を釣なりにして、咽喉の奥の方へ入れて、嘔吐を起さしむるようによつてあります。

第三は耳の中へ豆を入れるとか、蟲が入つたとか云ふ場合で、其の時には耳が痛み、耳鳴りがして來て、むかつき、引きつけを起すようになります。この手當は、微温の湯が「オリーブ油」を耳の中へ入れるのであります。

第四は眼の中へ入つた場合で、これが一番多いのであります。道を歩いて居る時であるとか、汽車に乗つて居て窓から顔を出した場合であるとかその他、眼の中へ塵の入つたと云ふ場合が澤山にある。かういふ場合には、眼が痛んで來ますが、殊に結膜囊の中へ入ると、血膜炎を起して眼が赤くなり、痛みも増して來ます。

此の手當としては、筆の尖きが、ハンカチをぬらして眼球を拭いて異物を取り、其の後へコカインをつけ、硼酸で冷すのであります。

第五は胃腸内へ入つた場合で、其の入つた異物が胃と腸との境にある幽門を通ることの出来るようなものであると、牛乳又はお粥、芋、キントン餅等を澤山に食べさせる。そうするとそれと一諸に異物が外へ排出されて來ます。

吃逆

吃逆は、壯健な赤兒、殊に母親の乳を呑んで居る子供に反つて多く出るものであります。胃腸其他の病氣の爲めに、知覺神經が刺戟された場合であるとか、殊に最も多く起るのは、横膈膜を壓しつけた場合に起ります。其他、心臟の中に水の溜る病、肋膜炎、腹膜炎等の爲めにも起ります。然し病氣がなくても突然起ることは前にも申した通りであるさういふ病氣でない子供が吃逆を起した時は、お湯か乳を呑ませればよく、少し大きな子供であると指で耳と鼻とを閉ぢて、お湯を呑ます。そうすると胃が膨張して、吃逆の原因たる横

膈膜の痙攣を止め、従つて吃逆が治るのであります。

中毒

中毒にはいろいろな場合があります。若し昆蟲類に刺された場合、就中、蜂に刺されたときには、針が身體に立つて居ないかといふことをよく確かめあつた時は能く之を抜き取つた後、硼砂精水を塗る、若し其の跡がついた時には、鉛糖水、錯酸礬土水で濕布をして置くのであります。

蛇に害せられた時、これは都會等には餘りありませんけれども、野原等へ遠足の出掛けた時には往々あることですから、十分注意せなければなりません。噛まれた局部から、血が流れ出たときには、それを止めないで、其の儘にして置く、それは毒が體內へ廻はらないようにする爲めでありま

す。又、心臟に毒が廻はらないようとする爲めに傷害の局部に近い中樞を手拭で固く縛つて置く。

そして局部へ礞砂精又は沃度丁幾を塗り置くのであります。又、酒を吞ませるのも一の方法であります。

犬に噛まれた場合、殊に狂犬に噛まれた場合には、往々にして恐水病といふ怖ろしい病氣に罹ることがありますから、十分の注意をして、其の犬が狂犬でないかどうかを調べて、若しそうであつたならば、直ぐに醫者の處へ行き、本當の恐水病である場合には、直ぐにバステウル注射をせなければ、其の爲めに生命を失ふに至るものであります。犬に噛まれた場合には、蛇に噛まれたと同じ應急の手當をして置いて、成るべく早く醫者の處へ行く方が安心であります。

第二に飲食物の中毒には(一)腐蝕中毒と(二)麻酔中毒との二つの場合があります。

第一の場合には酸類、礞汁、金屬等に中毒したとくに起るもので、此等の毒物の逢つた處は、酷く

焼けたいれて、血便を出して非常に苦しみ胃が其の毒を排出しようとして嘔吐を催します。

此の手當としては、酸類を呑んだ場合には、弱いアルカリ即ち石灰水、重曹又は石礞等を吞まじ礞汁を呑んだ場合には、酢或は梅のような酸類を吞ますのであります。若し水銀、綠青、重クロム酸加里等の金屬を呑んだ場合には、牛乳又は卵の白味を多量に吞ますのであります。

麻酔中毒は、阿片、モルヒネ、茸類、河豚、又は腐敗した魚を食べた場合で、其の爲めに身體が麻酔して人事不省に陥るか、強直性の痙攣を起し嘔吐を催します。この時には、其の嘔吐を助長して、其の毒を嘔き出さすようにせなければなりません。其の爲めには湯を多量に吞ませて羽根のようなもので、喉をさわる。そして直ぐに醫者を呼ばなければなりません。

疼 痛

總て痛いと言ふのは知覺神經の刺戟されたといふ證據であつて、子供が痛いと言ひ又は痛をうな表情をすれば、何處かに故障が起きて居るに相違ありません。けれども其の痛みが頭にあるか腹であるか、若しくは齒であるかと云ふ正確なる局部を指示するといふことは子供には出来ないものであります。又、両親等が平常頭が痛い／＼と云つて居ると子供は他の場所が痛い場合も、頭が痛いと言ふ時がありますから、先づ其の場所を確めることをせなければなりません。勿論其の場所によつて其の手當が違ふからであります。

一、頭痛

頭痛の原因にはいろいろありますけれども、傳染病の爲め、酒を呑んだ爲め、血が頭によつた爲め頭の血が少くなつた爲め、睡眠不足の爲め等が主なる原因であります。その他、他の局部の疼痛に影響されて頭痛のする場合もあります。然し頭

痛と云ふ一の病氣がある譯ではないので、他の病氣の随伴症狀若しくは其の分症として起るものであります。

従つて其の手當も、頭痛の原因によつて迷ふけれども、一般に靜かにして眠らしめ、五官を刺戟しないように注意して、頭を冷し、手足を湯の中へ入れ、項、足の裏、腓脛部へ芥子泥を塗り、或は下劑を吞ませるのであります。然しこれは一般の場合であつて、其の中で多血性の人の頭痛と貧血性の人のとは其の手當を違へなければならぬのです、多血性の人は多く血が頭へ鬱積した場合であります、顔の色が赤くなつて脈が少くなりま

す。この場合には努めて頭を冷すことは勿論、頭に滯つて居る血を心臓へ歸しやるようにせなければならぬ。其れにはネーゲリ氏の方法と云ふので一番簡單であります。

其の方法を申しますると、頭痛になやんで居る

者を臥床の上へ正しく坐らせ、其の傍に懷中時計を置き、時間を正確に測ることが出来る様にして置きます。術者は平手を頬骨の所へ當て頭をつかむ。此の時拇指を耳の後へあたる様にして耳朶を押しつれたり拇指を耳の中に突込まぬ様にしければなりません。術者は自分の肘を腋窩へつけ、力を入れて注意しながら頭を凡そ一寸ばかり上げる其の時間一二分間であります。頭痛が止んだといへは直ぐ止ねばなりません。貧血質の人の頭痛は心臓から頭へ血が届かないのでありますから、コ―と其の他の興奮劑を吞まします。然しこれ等は單に應急の手當に過ぎないので、頭痛にはいろいろの原因がある。其の本症を確めて治すことが大切であります。

二、齒痛

子供に一番多い病氣は齒痛であります、又、齒は一番病氣に罹り易い處なのであります。日本

の小學生の統計によつて見ても百人中で五十人までは蟲齒がある。これは未だ少いので、西洋では百人中九十人までもある。これは一に齒の養生の悪い爲めであつて、素人は柔かい物さへ食べさせて置けばよいと思つて居るようですが、それは反つてよくないことで、固い物をよく嚙むようにするのが齒の養生によいのであります。又、蟲齒は單に齒の痛みだけではなく、蟲齒から結核性微菌が身體へ入つた爲め、肺病を引き起すことでもある位ですから、これは十分に注意して、平常から齒の養生をさせなければなりません。

レーゼル氏と、イエセン氏と云ふ人が齒の養生に就いて十ヶ條の訓誡を述べて居ります。極めて適切な言葉であらうと思ひますので、同氏の言を引き來つて、齒の養生法の説明に供して置き度いと思ふ。

一、平生顔を洗ふよりも齒をお洗ひなさい。

二、子供には乳歯の時代から、歯の養生法を教へて置きたい。

三、甘い物や柔い物を過度に與へてはならぬ。

四、朝夕二回は必ず歯を磨け、朝よりも夕方よりもつと大事に磨きなさい。

五、歯が健全であると云ふことは、身體の健全な證據で、歯が悪ければキツト胃腸が悪くなる。

六、歯を健全にするには常に掃除をせなければならぬ。其の楊子や磨粉を非常に注意せなければならぬ。

七、年に二度位は必ず醫者に診察を乞ひなさい

八、若し悪い處があれば直ぐに治療なさい。

九、若し蟲歯が出来たら、直ぐ入歯をなさい。然し入歯をしても、生歯よりも自由でないから、痛むからと云つて直ぐに抜くのはよくない。

一〇、歯石のたまつた場合には直ぐに御取りなさい。

以上は平生から、養生法であります。これだけ嚴格に履行して居ましたならば、大體は歯痛を起しません。

今、歯が急に痛み出した時の手當を少しく御話して置きます。それは、微温湯、食鹽、硼酸、鹽酸加里等で嗽をさせ。これで治らなければ、温菴法をやる。冷いものは其の當時はよいけれども直ぐまた痛くなりますから、温い菴法をする。そして歯の根へヨチウムチンキをつけるこれで治らなければ醫者へ行くより外ありません。

三、咽喉痛

これは子供に餘程多い病氣であります、主としてジフテリアや、扁桃腺炎等に原因するものであります。若し喉に白い班點が出来て居れば、それはジフテリアで、若し赤くはれて居ると、扁桃腺炎であつて、物を食べると咽喉が痛むのでありますから、咽喉が痛むと云ふような時は直ぐに氣を

附けなければなりません。又、子供は此の場合に耳が痛いようにも云いませけれども、多くは耳ではない咽喉でありますから、これ等もよく注意をして直ぐに醫者へ行くことを怠らないようにすることが大切です。

四、腹痛

腹痛には、胃痛の場合と、痲痛の場合との二種があります。胃痛の場合、子供に多くは蛔蟲の生じた場合であります。學校などでは、よく机の角へ腹部を押しつけて苦んで居ります。其の時に眼を見ると、眼縁が黒くなつて居ります。その他、芋のよな瓦斯の出來易いものを多量に食つた時にも起ることが多い。これには溜つて居る瓦斯を腸から排出する手當をせなければなりません。兎に角腹痛の一般手當としては、温石、濕布等の温菴法で腹部を温めてやることであります。

疝痛とは一般に云ふ癪であります。これは腹

痛の中でも殊に苦みが多いのであります。其の原因には種々ありますけれども、腐敗したサイダー其の他の清流水を呑ん爲め、或は瓦斯の溜つた爲め、鉛の中毒の爲め等で、腸の痙攣を起すのであります。この場合にも腹部を温め、若し出来ればリスリン灌腸をし若しくは五勺位の水で灌腸をする。それで治らなければ醫者へ行かなければなりません。疝痛の中でも殊に膽石疝は容易に治らない病氣で、醫者でもモルヒネ中射をして、漸く救ふと云ふ程に重症な病氣でありますから十分注意せなければなりません。

五、胸痛

胸の痛いのにも、肋膜炎の場合と、肺の場合と肋間神經痛の場合とがあります。就中肋膜炎が一番多いので、其の徴候としては、胸が刺さる、よりに痛く、そして胸苦くなつて來て、目まいがする。其の手當は氷嚢其の他の冷菴法を施するの

であります。こゝに注意すべきは、同じ胸痛でも肋間神経痛の場合のは冷してはならないので、温菴法を施さなければならぬ。故に胸が痛いからと云つて直ぐに冷したり温めたりしてはなりませんよく其の原因を確かめて、然る後に適當な手當をする事が大切であります。

肺の爲めに胸が痛むといふのは、餘程重症になつて居るので、初期には先づないものであります肺の爲めに胸の痛む時も矢張温菴法をする。一般に肺は、其の患者の咳、痰を注意すれば左程傳染するものではありません。

これで内科的方法の大體の講習を終つた譯であります。最後に家庭なり學校なりで平常、備付けて置くべき薬品を一通り申上げて此の講習を終り度いと思ふのであります。

(一) ホツフマン氏液(アルコール混合體)(氣附藥)

これは氣附藥で大人ならば、十滴乃至四十滴を

砂糖水へたらして與へます。

子供は五歳位乃至七歳位には大人の三分の二若し一度できかなければ、もう一度與へるのも差支がありません。

(二) 礮砂精(氣附藥) これは嗅がせるのである

(三) 酢を二勺程、一日分の薬ビンに入れて、それを灌腸する。(氣附藥)

(四) 芥子泥(誘導劑)

これは前來度々話しましたように足の腓腸部に塗るので、頭や肺に寄つて居る血を、塗つた場所へ下げる爲めであります。芥子泥の製法は、普通の食匙で二三ばい程の芥子をなまぬるの湯で練り、それを麻か木綿の切れに塗つて、必要な局部へ貼るのです。然し子供には餘り濃いのはよくありませんから、適當に薄くすることが必要であります。

(五) 軟膏類

これにはいろいろな種類がありますけれども一番簡單なのは、硼酸軟膏とサリチール酸軟膏とであります。これは調劑したものを買つて來る方が便宜であります。

(六) 酒精 (消毒劑、鎮痛劑)

これには(一)エチールアルコールと、(二)メチールアルコールとの二種があります。第二の方は近來大變にやかましくなつて來た木精アルコールと云ふ方で、これは使つてはならぬ。一般に藥用として使ふのはエチールアルコールに水を半分ばかり混ぜたものであります。

(七) 齒痛の藥

これは醫者に頼んで調劑して貰つた方が安全であります。

(八) 重曹 (重碳酸ナトリウム)

これは胃の悪い時に呑む。

(九) 醋酸酹土水 (冷藥)

これは火傷をした場合など凡てひやしてよい場所へ濕布するので、備え付けて置く時は八プロセントに溶して置いて、使ふ時にこれを二プロセントにしてつける。

(一〇) 一%の鉛糖水 (冷藥)

これも(九)と同じく炎症の藥品で、冷し藥であります。

(一一) 二%リゾフォルム溶液 (消毒藥)

(一二) デルマトール

これは同じ消毒藥であるが、粉になつて居るものであります。

(一三) 絆創膏

(一四) 繃帶

(一五) ガーゼ

(一六) 吸入器

これは學校等では左程必要ではありませんが、家庭には是非備付けて置く必要があります。

(一七) 灌腸器

これは家庭には勿論、學校にも備付けて置くようにし度いと思ひます。

その他、幼稚園などで子供の使用する玩具、積木、石盤等は常に消毒することが大切であります。それには、

(一) ホルマリン 蠟燭

室内消毒にはこれが一番簡單であります。其の蠟燭は日本橋の三共合資會社で發賣して居ります

(二) リゾール 又は リゾホルム

これは二つ共に、一プロセントの割合に水に溶して其の中へ玩具を三十分位入れて置くのであります。

これで、大體の講習を終つた都合であります。長時間の間熱心に御聽き取り下さつたるを感謝いたします。(終)

雜

神戸通信

録

(神戸幼稚園長望月くに子氏より)

米國カリフォルニア州ロスアンヂェルスにて十七の幼稚園の總監督をして居られたレジョット嬢は今回支那福州に於ける新設幼稚園へ赴任の途中、神戸市へ立寄られ、市内二三園の參觀をせられました。其の節當市頌榮幼稚園長ミスハツの御盡力により十月十日、市内の保姆等集りて同嬢の御講話を聴くことが出来ましたから、その中要點を一つ二つ。

「私(レジョット嬢)が保育に従事して居ましたロスアンヂェルスは教育に熱心な處であります。其の教育法は主として子供を戸外で遊ばす主義で、之れば日本から學んだのかも知れません。今日參觀した幼稚園で拜見したと同じく、一人の子供がそれ〴〵責任を以て植物の世話をして、その美しい花の咲き出づるを樂しませて、又花を其の子の好きな友達に自由によび上げるようなこともします」
「一時音律が盛に行はれました頃は、正しい音律に合はせたマーチとか、スキツペンガの様なことが行はれましたが、それは幼稚園としては餘り六ヶ敷いといふことになつて、今日では廢されました無論極く簡單なことは今日でも致しますが」
「彼の地の幼稚園では朝の開會に挨拶の歌や、子供にお早う、太陽